



県政だより

人口減少が続くなかでも
元気にいきいきと暮らせるよう
取り組めます!

移住の促進



子育て支援

みえ



特集



働く場づくり

ワーケーションなど
関係人口の拡大

希望ある三重の未来に向けて
三重の人口減少対策を推進!

- P2 ● 民生委員・児童委員
- P3 ● 令和5年度当初予算
- 「G7 三重・伊勢志摩交通大臣会合」通信

県政情報をお届けします
三重県広報紙
◎毎月1日発行
◎毎月第1日曜日新聞折込

注目情報

看護で描こう!あなたの未来

5月12日は「看護の日」
5月7日から13日は「看護週間」

「みえ看護フェスタ2023」を開催します



「看護の日」
キャラクター
かんごちゃん

看護職の魅力をお伝えし、やりがいのある職業として、看護職を選択していただくきっかけとなるイベントを開催します。ぜひご参加ください。

詳しくはこちら

三重県 ナースセンター [Q検索](#)

5月8日(月)~7月31日(月) **参加無料**
オンラインイベントを開催

特設サイト上で、現役の看護職員や看護学校の担当者などが、看護職に関するさまざまな疑問に答えます。

対象 中学生・高校生とその家族
および進路指導担当教諭など



5月12日(金)11時15分~15時30分 **参加無料**
ラッピングバスを走行

日本看護協会のラッピングバスが津市内を走行します。
出発式を県庁で行います!

時間 11時15分~11時45分
ラッピングバス・かんごちゃん(着ぐるみ)と記念撮影ができます。



5月12日(金)
看護の出前授業を実施

県立津東高等学校の生徒の皆さんを対象にした「出前授業」を行います。

※出前授業の様子は6月頃に県ホームページで公開する予定です。

■看護職の皆さんへ 離職している方は県ナースセンターへ届出をお願いします!

看護職の免許をお持ちで、その仕事をされていない方は、連絡先などを県ナースセンターに届出をお願いします。

[届け出サイト「とどけるん」](#) [Q検索](#)



問い合わせ先 県ナースセンター(県看護協会) TEL 059・222・0466 FAX 059・222・0465

プレゼントコーナー

〇〇〇〇に当てはまるキーワードを本紙から探してお答えください。

希望ある三重の未来に向けて
三重の〇〇〇〇対策を推進!

正解者の中から抽選で5人に
玉城町の産品詰め合わせ
をプレゼント!

当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。個人情報や賞品の発送に関する目的以外には使用いたしません。

応募方法 「ハガキ」「メール」または「ホームページ:みえのいいところ!動画 令和5年5月号(本紙4ページ参照)」からご応募ください。
※ご応募は1人1回限り

記入項目 住所、氏名、年齢、電話番号、県政だよりの入手先、キーワード、県政だよりの感想をご記入ください。

応募締切 令和5年5月31日(水)到着分まで

〒514-8570(住所不要)
三重県広聴広報課
「県政だより5月号プレゼントコーナー」係
☒ dayori@pref.mie.lg.jp
(プレゼント応募専用メールアドレス)



便利な電子版
カタログ
ポケット



スマホアプリで
いつでもどこでも
マチイロ



県・市町の広報紙を
まとめてチェック
マイ広報紙



県の最新情報は
特設サイトを
チェック!





人口減少は県の活力を奪う静かな脅威です。県では、令和4年4月から精力的に取り組んでいます。



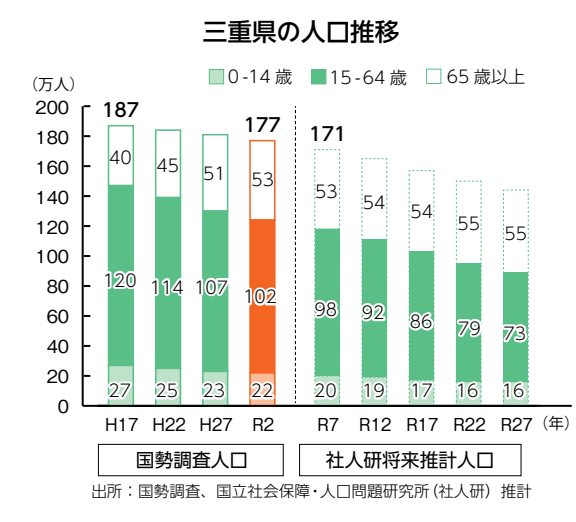
人口減少(自然減・社会減)の課題に対応するため

総合的な対策を推進します

県内人口は年々減少しています。今後も少子高齢化に伴い、一層人口減少が加速することが予測されています。県では、人口減少下においても、県民の皆さんが将来にわたって、いきいきと元気に暮らすことができるよう、少子化対策や担い手の確保などに取り組んでいきます。

人口減少がもたらす影響

日本全体では…	地域では…
<ul style="list-style-type: none"> 働く世代の割合の減少による、経済成長の鈍化・生産性向上の停滞 社会保障制度(医療・介護・年金など)における給付と負担の不均衡 	<ul style="list-style-type: none"> 商業・医療・交通サービスなどの縮小・撤退 税収減による行政サービス水準の低下 地域コミュニティ活動の担い手不足 伝統文化の継承困難 地域防災活動の停滞



自然減対策

自然減の現状
例えば…
合計特殊出生率をみると
1人の女性が一生の間に生む子どもの平均数

平成27年 1.56 → 平成30年 1.54 → 令和3年 1.43

現状・課題

- 合計特殊出生率は低下傾向
- 未婚化・晩婚化が進行
- 未婚の理由は、出会いがない、経済的な不安 など

社会減対策

社会減の現状
例えば…
転入者・転出者数(令和4年)をみると

県内への転入者数: 25,059人
県外への転出者数: 28,934人 (転出超過)

転出超過数は 3,875人

現状・課題

- 転出超過の約8割が15歳から29歳の若者(そのうち約6割が女性)
- 若者の県内定着率が低い、転出した若者が県外で就職するなど、流入・Uターンが少ない など

ライフステージに応じた切れ目のない対策

令和5年度 県の取り組み(一部)

安心感の向上	母子保健サービスの充実
<ul style="list-style-type: none"> 心身の不調、育児不安などを抱える妊産婦を支援するため、助産師などによる広域の支援体制のモデルを整備 妊娠期から出産、子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援を一体的に取り組む市町の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援や出会いに関する情報提供 結婚応援サポーターによる「1対1の引き合わせ」 企業間での婚活イベントなどの開催促進 婚活サービスを安心・安全に活用してもらうための情報発信 など

定住促進/流入・Uターン促進

令和5年度 県の取り組み(一部)

魅力の発信	移住の促進
<ul style="list-style-type: none"> 県内就職の促進 地域の課題解決 	<ul style="list-style-type: none"> 三重県への移住者が多い、関西圏・中京圏での情報発信を強化 SNSを活用し、移住希望者向けの情報発信を行うとともに交流の場を創出

若者や女性の県内就職支援

- 「おしごと広場みえ」オンラインシステム構築などによる、学生ニーズに沿った就労支援サービスや情報の提供
- 地域のさまざまな主体(企業や商工団体など)が一体となった採用活動を支援
- SNSを活用し、若年層や女性の県内就職の促進に向けた情報発信
- 就職支援協定締結大学と連携した就職情報発信

地域の主体との連携による広域ネットワークの構築・取り組みの推進

- 特に人口減少が著しい南部地域に「人口減少対策広域コーディネーター」を設置し、市町や地域のさまざまな主体と連携して課題解決を促進 など

上記に取り組むことに加え、地域に住み続け、また県外から移り住んでいただくため、防災・減災、医療・介護、教育、公共交通、産業振興など、県民の皆さんの生活や地域の雇用経済に密接にかかわる分野において、必要な行政サービスが十分提供されるよう取り組んでいきます。

問い合わせ先 政策企画部 人口減少対策課 TEL 059・224・3415 FAX 059・224・2069 E-mail jinkou@pref.mie.lg.jp

みえ未来創造予算

令和5年度当初予算は、三重の未来を創造するための実行予算として編成しました。県民の皆さんが未来に希望をもち、幸福を感じながら、元気で安全・安心に暮らせるよう積極果敢に取り組んでいきます。



POINT 1 未来を担う子どもたちを守り育てる

「結婚・妊娠・子育てなどの希望がない、全ての子どもが豊かに育つことのできる三重」の実現に向けて、「みえ子どもまるごと支援パッケージ」をとりまとめ、ライフステージごとに切れ目なく支援するとともに、次の時代を担う子どもたちを包括的に支援します。

- みえ子ども・子育て応援総合補助金(子ども・福祉部) <3億404万円>**
市町が新たに取り組む、子ども・子育て家庭を支援する事業などを柔軟に支援します。
- みえの出産支援事業(子ども・福祉部) <2,988万円>**
新たに結婚応援サポーターを養成・認定し、結婚を希望する人同士の引き合わせに取り組むなど、新たな出会いを支援します。
- 国児学園運営費(子ども・福祉部) <7,912万円>**
国児学園(児童自立支援施設)入所児童の生活環境の改善を図るため、老朽化が進む寮舎の建て替えに向けた調査・設計などを実施します。
- 不登校対策事業(教育委員会) <5,395万円>**
一人ひとりに応じた支援を行うため、不登校総合支援センターを新設し、多様な活動の場の提供や民間団体との連携などを推進します。

POINT 2 県民のいのちを守る

南海トラフ地震や風水害などに備えて、ソフト・ハードの両面から取り組みます。

- 地域減災対策推進事業(防災対策部) <2億585万円>**
市町が実施する津波避難タワーや避難路などの整備を支援します。
- 防災・減災、県土の強靱化[ハード対策](農林水産部・県土整備部) <546億円>**
土砂災害防止対策や堤防の高潮対策など、県土の強靱化に向けた対策を強力かつ計画的に推進します。

POINT 3 賑わいのある観光を取り戻す

観光コンテンツの磨き上げや拠点滞在型観光を推進するとともに、三重の魅力を国内外へ発信し、観光誘客を促進します。

- 拠点滞在型観光推進事業(観光部) <9億3,468万円>**
旅行者の滞在日数の増加をめざし、三重ならではの観光資源を生かした拠点滞在型観光を推進します。
- 高付加価値旅行者層誘致促進事業(観光部) <5,497万円>**
海外旅行会社の招請や海外商談会への参加など、海外から高付加価値旅行者層の誘致を進めるためのプロモーションを実施します。

POINT 4 時代の変化に対応し三重の産業を振興する

持続可能な農林水産業や、カーボンニュートラルの実現に向けて取り組みます。また、県内企業が新たな領域への挑戦などに取り組めるよう支援します。

- 黒ノリの色落ち緊急対策事業(農林水産部) <1,006万円>**
黒ノリの栄養塩類不足による色落ち被害の深刻化に対応するため、色調改善や生育促進の実証研究を実施します。
- スタートアップ支援事業(雇用経済部) <2,615万円>**
スタートアップや新事業創出をめざす県内企業を対象に、他社との連携機会の提供や新規事業への財政的支援などを実施します。
※スタートアップ…新しいビジネスを一から開始し、急成長している事業や企業のこと
- 「ゼロエミッションみえ」実装 成長産業育成・競争力強化事業(雇用経済部) <3,948万円>**
「ゼロエミッションみえ」プロジェクトの取り組みの一つとして、EV(電気自動車)など次世代自動車への生産移行に伴い影響を受ける自動車部品サプライヤー(供給・納入業者)に対し、業態転換や事業再構築などの支援を行います。
※「ゼロエミッションみえ」プロジェクト…企業などの温室効果ガスの排出削減策などに資する取り組みを、県内の産業・経済の発展につなげるプロジェクト

POINT 5 誰もが暮らしやすい社会をつくる

県民の暮らしを守る取り組み、デジタル社会や人権が尊重される社会の推進、カーボンニュートラル・福祉・文化・スポーツの推進、公共交通の維持・確保などを実施します。

- 交通安全施設整備事業(警察本部) <17億7,389万円>**
摩耗した横断歩道や老朽化した信号制御機などの交通安全施設等を更新・整備します。また、通学路などに歩行者用信号灯等を増灯します。
- 交通空白地移動手段確保事業(地域連携・交通部) <2,950万円>**
次世代モビリティの活用や福祉分野との連携など、移動手段確保のための取り組みを支援します。

POINT 6 人口減少対策に取り組む選ばれる三重をつくる

結婚を希望する人の出会いの機会創出、安心して出産・子育てできる環境整備などの自然減対策や、県内定住、流入・Uターンの促進などの社会減対策を推進します。

- ええとこやんか三重移住促進事業(地域連携・交通部) <6,440万円>**
- 人口減少対策費(政策企画部) <3,360万円>**

※取り組みの詳細はP2をご覧ください。

問い合わせ先 総務部 財政課 TEL 059・224・2216 FAX 059・224・2125 E-mail zaisei@pref.mie.lg.jp 三重県 令和5年度当初予算 Q検索

Vol.3 2023(令和5)年6月16日(金)～18日(日)開催 「G7 三重・伊勢志摩交通大臣会合」通信

このコーナーでは連載記事(全4回)として、「G7交通大臣会合」に関連する取り組みやイベント情報などをお伝えしています。

G7交通大臣会合のPR用「共通デザイン」が決定しました

G7三重・伊勢志摩交通大臣会合推進協議会では、ポスターやのぼり旗などのデザインを統一し、会合開催のPR効果をより一層高めるため「共通デザイン」を作成しました。共通デザインは、県立飯野高等学校 応用デザイン科 藤原梨帆さん(令和4年度卒業生)が制作したものです。今後、このデザインを使用してPRを行っていきます。

<デザインコンセプト> (藤原梨帆さんより)
背景は志摩の海をイメージしています。グラデーションを使って、できる限り志摩の海に近い色を表現しました。文字は真珠を意識して白にしました。白と青のコントラストで読みやすくなるようにしました。見た人に志摩の海的美しさを感じてもらえたらうれしいです。

藤原さん、一見知事 記者発表の様子

問い合わせ先 雇用経済部 G7交通大臣会合推進プロジェクトチーム TEL 059・224・2638 FAX 059・224・3024 E-mail g7pt@pref.mie.lg.jp

最新情報は こちら

ホームページ Twitter Instagram Facebook

記事 ご存じですか?身近な福祉の相談役 民生委員・児童委員

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱される特別職の地方公務員(任期3年・無報酬)で、児童委員も兼ねています。地域でさまざまな困りごとを抱える人たちの相談相手となり、必要な支援の窓口につなぐ大切な役割を担っています。

令和4年12月に委員の改選が行われ、現在は県内で約4千人の方が活動していますが、地域の高齢化とともに、充足率が前回の改選時から0.9ポイント低下するなど、新たな「なり手」の確保が年々難しくなっています。

委員活動について周知し、なり手不足の解消をめざしています

民生委員が不足すると、困っている人が地域で孤立してしまい、必要な支援が行き届かなくなる可能性があります。県では、誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、民生委員は欠かせない存在であると考え、活動の充実や負担軽減につながるよう、研修や業務の効率化に向けた支援などを行っています。

また、令和5年は、三重県における民生委員制度創設100周年の節目の年です。これをきっかけに、民生委員に対する理解がより一層深まるよう、若い世代も巻き込んだ積極的な情報発信に取り組んでいます。

誰一人取り残さない「地域共生社会」を実現するためにも、「民生委員・児童委員」活動へのご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ先 子ども・福祉部 地域福祉課 TEL 059・224・2256 FAX 059・224・3085 E-mail tukushi@pref.mie.lg.jp

詳しくはこちら

人口減少対策に取り組み、三重で元気に活躍する人・団体をご紹介します！

訪れる人と地域をつなぎ 良好な関係づくりを推進！

みえの未来に つながる力

きじま けいこ
NPO法人おわせ暮らしサポートセンター / 理事長
シェアスペース土井見世 / 管理人
木島 恵子さん 尾鷲市

尾鷲への移住のきっかけは、地域おこし協力隊

関東の都市部で生まれ育ったので、子どもの頃から田舎への憧れと古民家や古物に興味がありました。大人になってからは二地域居住がたくて、平日は東京で働き、週末は地方へ出かけては空き家を探す日々。そんななか、尾鷲市で築88年の古民家に住みながら空き家バンクを運営し移住定住を促進するという地域おこし協力隊の募集を見つけ、魅力を感じ、全くご縁のなかった地域でしたが応募をしました。

移住だけではなく、つながりを持つことも大切なこと

地域おこし協力隊を退任した現在は、市の登録有形文化財「見世土井家住宅」を借り受け、シェアスペース土井見世という形で管理運営をしています。

人口増というと、移住や定住にフォーカスされがちですが、私は移住前の交流ってすごく大事だと思うんです。例えば、尾鷲に移住するにしても、何回か遊びに来たり、泊まったりして、尾鷲での暮らしぶりや地域の人を知ることが出来たらお互い安心ですよ。それで移住に結びつければ良いですし、そこで移住とはなくても尾鷲と交流を持つ人が全国に増えれば、そのつながりからまた違う人が尾鷲を訪れたり、新たな出会いが生み出されていきます。もし災害が起きて、助けてくれる人が市外や県外にたくさんいてくれると思うと心強いんですよ。そういう思いでシェアスペース土井見世では、尾鷲の外から訪れる人と地元の人をつなぐマッチング活動や交流イベントなども開催しているんです。



シェアスペース土井見世での交流の様子



海・山・集落の風景が一度に楽しめる九鬼町

人と人、人と地域をつなぐ楽しい日々

今までに、オンラインで異なる職種や年齢の人が集まって意見を出し合うイベントや、尾鷲出身の大学生と都内から来た大学生と一緒に空き家の片付けや古物市を開催するイベントなど、交流を通して、人と人、人と地域をつなぐことができました。そういう場があると、県外から訪れる人にとっては尾鷲を知るいい機会になりますし、地域の人も訪れた人から尾鷲の良さを聞かされたりして、あらためて地域の魅力を再認識しているようです。尾鷲は都市部にはない、山と海、そして人が暮らすエリアが一体となった素晴らしい風景がある場所なんです。そんな場所で人と人がつながったり、いろんな魅力に出会えたりするのも、この活動の醍醐味です。このまちと人と出会って、本当に良かったなと感じています。

三重で暮らそう！

県外からのU・Iターン移住をお手伝いしています！
詳しくは「ええとこやんか三重」ホームページをご覧ください。



「三重県移住・交流ポータルサイト」

ええとこやんか三重

兔の助が紹介！ みえのいいとこ！



江戸時代後期、田丸城主久野家の家老 金森水が設計・建築した茶室兼居宅「玄甲舎」。客人をもてなす華やかな「茶室」と生活を営む簡素な造りの「居宅」で構成されており、自然に調和した素朴で美しいたたずまいを比較しながら見て回れます。季節のイベントや展示会、ワークショップなどさまざまに利用されています。

住所 度会郡玉城町佐田151-22 TEL 0596・58・8050



二次元コードから動画を視聴できます！



動画視聴はこちら
プレゼントコーナーの応募はこちら



三重県応援キャラクター 兔の助

県政だより みえ

第3日曜 18時45分～
再放送 ①翌火曜 10時15分～
②翌月曜～金曜 8時～、16時45分～
(第2チャンネル) ※祝日を除く

よしお兄さんの「みえ」推し！

(報道情報ワイド番組「チャント！」内)
水曜 16時40分ごろ～

三重県からのお知らせ

月曜～金曜 7時43分～ 金曜 18時25分～
FM三重 テンミニッツ
聴いとこ！知っとこ！10min みえ！
火曜 18時22分～

6月号は6月4日(日)に新聞折込予定です。

弁護士法人 心

相談料0円 (但し、相続・遺言・交通事故被害・後遺障害・労災・障害年金・過払金・借金・借入金以外は初回30分程度)

夜間・土日祝相談可 (要予約)

相続・遺言・交通事故・後遺障害・労災・障害年金
過払金・借金・企業法務・労務・刑事事件 他

交通事故・後遺障害
損害賠償請求 過正等救済
無料診断サービス

障害年金
無料診断サービス

過払金
無料診断サービス

遺言書
無料診断サービス

所属弁護士45名以上!!

※主たる事務所は愛知県弁護士会所属 ※>内は所属弁護士会名です。※費用につきましては例外もありますので、詳しくはホームページをご覧ください。
※本広告は、令和5年3月時点のものです。

津駅0.5分 弁護士法人心 津法律事務所 <三重弁護士会>
近鉄四日市駅1分 弁護士法人心 四日市法律事務所 <三重弁護士会>
松阪駅1分 弁護士法人心 松阪法律事務所 <三重弁護士会>

受付時間 / 平日 9時～21時 土日祝 9時～18時 (12/31～1/3は除く。その他臨時休業もごさいます。)

総合受付 0120-19-2403

詳細は https://www.kokoro.law

遺品整理・生前整理・空き家整理

お片づけでお困りのことは ございませんか？

家具 家電 などの買取も可能!

三重県全域対応
ご相談・お見積もり無料
女性スタッフ在籍

お気軽にお問い合わせください

TEL FAX 0120-06-3177 ASTER 株式会社アスター

〒514-2314 三重県津市安濃町妙法寺322-2 受付時間 9:00～19:00
廃棄物は法令等を遵守し、適切に処理を行っています。
遺品整理士(認定第IS10512号)/古物商許可 三重県公安委員会第551220217600号

「県政だより みえ」の発行経費の一部に充てるため企業広告を掲載していますが、内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。なお、掲載については、広告掲載業務の委託先である株式会社ジチタイアド(TEL092・716・1401代)までお問い合わせください。